

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）					
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課
①ひとを育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり	まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進める。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図る。	○ 地域の支え合い（1）日常の困りごとに対応する活動拠点づくり	住民が抱える日常の困りごとに、既存の枠組にとらわれない地域住民自らが相談に乗ったり、解決策を提示する拠点づくりを支援することにより、支え合いの意識づくりと地域活動への参加を促す。	○		地域で積極的に活動している市民団体やボランティアを構成員とした「我が町じゃけん！地域の応援隊プロジェクト会議」を、安芸区役所が事務局として創設し、安芸区の枠を超えて近隣の市町とも連携し、既存組織にとらわれない若い世代に積極的に参加してもらい、地域の枠を超えたつながりを生み出すことにより、地域を元気にする取組の企画につなげる。	○	5	矢野の家	区全域	我が町じゃけん！地域の応援隊プロジェクト会議	地域起こし推進課
				○		畑賀地区において、自主グループ活動として、毎月1回男性料理教室を開催し、季節の料理、冷蔵庫の中にあるものを使った料理づくりができるようにするとともに、参加者の交流を促進している。引き続き、すこやか食生活推進リーダーを講師として、健康な食事に対する知識を深めるとともに、健やか食生活プラン推進事業として、年1回程度安芸区総合福祉センターで、男性への食育推進活動のための料理教室を開催する。		15	男性料理教室「游食の会」「畑賀地区社会福祉協議会」	なし 希望者誰でも	① 毎月1回実施（参加者の希望に基づくものや季節の料理、冷蔵庫の中にあるものを使っての料理） ② 2月開催の「畑賀福祉まつり」にのりから揚げ、ポテトフライなどバザーに出品 ③ 会のPR ④ 参加費 月 1,000円	健康長寿課
				○		瀬野地区において、奇数月第2木曜日に瀬野公民館で開設されている「困りごと何でも相談」の場を活用し、地区のよろず屋として、日々の生活の中での困りごと等解消の糸口となるよう、住民の知恵を相談者に提供する場の設置・運営を瀬野公民館・地域包括支援センター・行政相談員と連携して支援する。		22	地区の「よろず屋」運営委員会	瀬野学区	日々の生活の中で、困りごと等において、行動（何ら）の一步が踏み出せずに悶々と悩める方（個人）あるいは、一家庭へのよろず屋（アドバイザー）として知恵（相談）を持って、解消への糸口として支援（補助活動）を対象者への提供（補充）を果たす。	区政調整課 健康長寿課
				○		中野東地区において、転落が怖い等、独居の高齢者を含む虚弱な住民や障害者を対象に、住民主体型生活支援訪問サービス事業を活用し、電球取替・庭木剪定等が行えるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		19	中野東学区社会福祉協議会	中野東学区全域	障害者及び高齢者等への生活支援サービス提供の取組	健康長寿課
				○		畑賀地区において、畑賀地区社会福祉協議会が中心となり住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう「はたか健康塾」を開催し、健康講座や料理教室等住民の交流を促進している。引き続き、心身の健康増進に資する活動や生きがいづくりを推進するため、「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、健康講座や料理教室等を開催する。		14	はたか健康塾実行委員会「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀地区	住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう、「はたか健康塾」の開催を通じて、心身の健康増進のための活動や生きがいづくりを推進する。	地域起こし推進課 健康長寿課
				○		畑賀地区において、畑賀地区社会福祉協議会が中心となり住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう「はたか健康塾」を開催し、健康講座や料理教室等住民の交流を促進している。引き続き、心身の健康増進に資する活動や生きがいづくりを推進するため、「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、健康講座や料理教室等を開催する。		14	はたか健康塾実行委員会「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀地区	三世交代交流事業「焼き芋カフェ」H30年初年度 毎年開催事業としている。ドラム缶を使用して、火を熾すことを子どもたちに体験させる。焼き芋の準備（芋を洗う⇒新聞紙に包む⇒水につける⇒アルミ箔で包む）をしたら、火の中に入れて焼く。参加者全員で実施。焼き芋が出来上がったら一緒に食べる。	健康長寿課
				○		畑賀地区において、宅地化が進み新たな若い世代も増える一方、高齢化に伴う田畑や山林の管理が困難なケースや暮らしの困りごと、町内会未加入世帯の増加等の課題を解決するため、協働労働モデル事業の支援を受けて立ち上げられた各種事業が住民主体で円滑に行えるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		既	畑賀地区社会福祉協議会	畑賀地区	安芸区畑賀では宅地化が進み新たな若い世代も増える一方、高齢化に伴い、田畑や山林の管理が困難なケースや暮らしの困りごとの増加、町内会未加入世帯など地域の関係づくりに課題がある。それらの課題を解決することを目的にして各種事業を行う。	健康長寿課
				○		畑賀地区において、宅地化が進み新たな若い世代も増える一方、高齢化に伴う田畑や山林の管理が困難なケースや暮らしの困りごと、町内会未加入世帯の増加等の課題を解決するため、協働労働モデル事業の支援を受けて立ち上げられた各種事業が住民主体で円滑に行えるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		意		区全域	議事資料4「身近な課題(3)」で、「交通手段を持たない世帯」とあるが、内容が買い物に関するものしかない。買い物だけではなく、例えば、運転免許証を返納した高齢者に対する支援など、「生きがいにつながるものに参加したい。」という方への支援ができないか。	地域起こし推進課
				○		中野東地区において、地元団体が「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、毎年恒例の町内行事への参加者の固定化・マンネリ化や引きこもりがちな高齢者の増加等の問題を解決するため、健康麻雀や料理教室を開催し、シルバー世代等の地域デビュー支援や住民同士の交流の機会を創出している。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。		既	平原上第二町内会	中野東地区	毎年恒例の町内行事への参加者の固定化・マンネリ化や、引きこもりがちな高齢者の増加等といった問題を解決するため、健康麻雀や料理教室を開催し、シルバー世代等の地域デビュー支援や住民同士の交流の機会を創出する。	地域起こし推進課 健康長寿課
				○		中野東地区において、地元団体が「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、毎年恒例の町内行事への参加者の固定化・マンネリ化や引きこもりがちな高齢者の増加等の問題を解決するため、健康麻雀や料理教室を開催し、シルバー世代等の地域デビュー支援や住民同士の交流の機会を創出している。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。		意		区全域	議事資料4「身近な課題(3)」で、「交通手段を持たない世帯」とあるが、内容が買い物に関するものしかない。買い物だけではなく、例えば、運転免許証を返納した高齢者に対する支援など、「生きがいにつながるものに参加したい。」という方への支援ができないか。	地域起こし推進課
				○		「やの交流プラザ」は、JR矢野駅自由通路の整備にあたり、地域住民によるワークショップの意見を取り入れ、展示スペース等の情報発信機能を備えたオープンスペースとして開設している。地域の情報発信や交流イベント等を実施することができるよう、実際に運営に携わっている地元地域団体等で構成する「やの交流プラザ運営委員会」の会議に出席し、適宜相談を受けたり、事務の補助を行うなど、支援を継続する。		既	やの交流プラザ運営委員会	矢野地区	「やの交流プラザ」は、JR矢野駅自由通路の整備にあたり、地域住民によるワークショップの意見を取り入れ、展示スペース等の情報発信機能を備えたオープンスペースとして整備し、平成21年1月18日に供用開始した。この施設を活用し、地域の情報発信や交流イベント等を実施する。	地域起こし推進課
				○		矢野地区にあるフリースペース「矢野の家」で、実施されている子どもの遊び場、子育て学習会、健康講座、高齢者体操教室、子ども服の交換会、料理教室等の活動を支援し、地域住民が交流を深める中で相互に支えあえるような地域づくりを推進する。		既	矢野の家	矢野地区	フリースペース「矢野の家」で、子どもの遊び場、子育て学習会、健康講座、高齢者体操教室、子ども服の交換会、料理教室等、地域住民とともに、医療と生活、両面から支えあえる地域とするための活動を行う。	健康長寿課 保健福祉課
○		医師会等との関係機関と連携により地域医療体制の充実を図る。		○		7	安芸区身体障害者福祉協会	畑賀地区	安芸市民病院では、現在予約制により、整形外科が毎週木曜日の14:00～17:30まで診察されておりますが、他の診療科目と同様に月曜日～土曜日までにして、安芸地域の拠点病院として取り組んでほしい。	地域起こし推進課		

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）							
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課		
①ひとを育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり	まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進める。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図る。	(2) 子育て支援	子育て世帯が抱える悩みを相談することができる環境を整え、安心して子育てをすることができると感じるまちづくりを推進する。	○		各小学校区で各種地域団体(民生児童委員・地区社協・子ども会・任意団体・ボランティア)が連携し、登校前の児童に対し朝ごはんを提供する「朝ごはん会」の活動を支援(食育に関する情報提供)し、食でつながる地域づくりを推進する。		6	矢野の家	安芸区全体	食でつながる地域づくり「朝ごはん会」の開催 各小学校区で各種地域団体(民生児童委員・地区社協・子ども会・任意団体・ボランティア)が連携し、登校前の児童に対し朝ごはんを提供し、地域のつながりをつくる。	保健福祉課 健康長寿課		
				○		畑賀地区において、子育ての悩みを相談できる保護者どうしの仲間づくりと子どもの遊び場づくりを目的として子育てサロンを開催するとともに、高齢者等との世代を超えた交流を促し、安心して子育てをできる環境整備の充実を図る。		16	子育てサロン さくらんぼ「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀学区	・情報交換 ・読み聞かせ ・地域子育て支援センターから年に1回子どもを中心の親子遊びを指導してもらっている。 ・歌のコンサートを育児サークル「ひよこクラブ」と共催	保健福祉課 健康長寿課		
				○		子育て家庭の親と子どもがいつでも気軽に集い、相互交流を図るとともに、子育てについての情報交換ができる場(地域のオープンスペース、子育てサロン等)を設置することにより、子育て家庭の孤立化を防止し、保護者の子育てに対する不安や負担感の軽減及び地域における子育て力の向上を図る。		既	各地域団体	区全域	子育て家庭の親と子どもがいつでも気軽に集い、相互交流を図るとともに、子育てについての情報交換ができる場を設置することにより、子育て家庭の孤立化を防止し、保護者の子育てに対する不安や負担感の軽減及び地域における子育て力の向上を図ることを目的として実施する。	保健福祉課		
		(3) 高齢者世帯への支援	高齢者世帯に対して、身近な困りごとに細やかな支援を行うことにより高齢者が住みやすいまちづくりを推進する。		高齢者世帯に対して、身近な困りごとに細やかな支援を行うことにより高齢者が住みやすいまちづくりを推進する。	○		瀬野地区において、瀬野学区社会福祉協議会が、瀬野福祉センターを活用し、地域住民の体力づくりとして専門講師による運動(筋力アップ、バランス能力、姿勢を保つ)を行っている。この活動を充実させるため、住民主体で認知症予防の講習や絵手紙教室等を行えるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		1	瀬野学区策定委員会	瀬野地区	広島市瀬野福祉センターを活用し、地域住民の体力づくりとして専門講師による運動(筋力アップ、バランス能力、姿勢を保つ)を行う。また、認知症予防の講習や絵手紙教室等を行う。	健康長寿課
						○		中野地区において、地域高齢者交流サロン運営事業補助金制度を活用し、空家を借りて地域の高齢者男性が集まり、気軽に話せるサロンを住民主体で開催できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		17	中野地区社会福祉協議会【まちづくり委員会】	権現・津村地区	空家をお借りして地域の男性が集まることができる場所づくりに取り組む。 地域の高齢者男性が集まって、色々な話ができるようなサロンを開催する。日頃はコーヒー、お茶、時にはビール。	健康長寿課
						○		中野地区における社会資源を考える会が発足し、第一段階として、認知症サポーター養成講座のステップアップ講座を開催している。引き続き、住民主体で新たな社会資源が創設されるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		18	連合町内会・民児協・社協・老人クラブ・包括支援センター	中野地区	中野地区における社会資源を考える会を発足して、第一段階として、認知症サポーター養成講座のステップ講座を開催する。	健康長寿課
						○		中野地区において、住民主体型生活支援訪問サービス事業を活用し、老人世帯等で庭木の手入れ、清掃など業者への依頼が困難な高齢者世帯等を安い費用で手助けする事業を創出できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		10	「まかせんさい権現」(中野四丁目権現町内会会長 大岡和夫)	権現町内会(中野四丁目)	老人世帯等で庭木、清掃等で業者等に頼みにくい方で困っている人に、安い費用で手助けする。	健康長寿課
						○		阿戸地区において、住民主体型生活支援訪問サービス事業を活用し、65歳以上の方を対象に、草取り、草刈り、ゴミ出し、電球の交換などを行う住民主体型生活支援訪問サービスの創出、維持が図れるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		29	阿戸地区社会福祉協議会	阿戸地区	住民主体型生活支援訪問サービス事業【新規】 65歳以上の方を対象に、草取り、草刈り、ゴミ出し、窓ふき、電球の交換などを行う。	健康長寿課
						○		中野地区において、地元団体が「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等が地域デビューできるよう支援するとともに、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図るため、健康麻雀や歌声健康クラブ(合唱)を住民主体で開催できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援している。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。		既	平原上第二町内会	中野地区	健康麻雀や歌声健康クラブ(合唱)を開催し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等の地域デビューを支援し、また、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図る。	地域起こし推進課 健康長寿課
						○		中野東地区にある平原上集会所において、介護予防の自主活動グループ「悠々クラブ」が、毎月1回、健康麻雀、軽スポーツ、料理教室、囲碁、将棋をすることができるワンコインカフェを開催し、住民同士の交流を促進している。引き続き、健康な食事に対する知識を深めるため、「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、すこやか食生活推進リーダーを講師として料理教室を年1～2回開催する。		21	町内会(中野東学区)	平原上第二町内会	町内にある集会所、毎月1回(第4水)一番にコミュニティを図るため、ワンコインカフェとして、健康麻雀、軽スポーツ、料理教室、囲碁、将棋をできるように、住民同士の交流を進めたい。	地域起こし推進課 健康長寿課
						○		阿戸地区において、レクリエーション、歌、運動、情報交換等の多様な活動が行えるようにするため、地域の住民が集まることができる交流サロンを住民主体で定期的に開催できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援する。		30	ボランティア団体「ひだまり」	阿戸地区	地域高齢者交流サロン運営事業【継続】 地域の高齢者であれば誰でも参加可能(高齢者以外の地域住民も参加可能) ・週1回(火曜日)定期的に開催 ・毎回40～50名程度参加 ・レクリエーション、歌、運動、情報交換等の多様な活動 活動場所:あと徳育園	健康長寿課
						意								

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）				
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容
①ひとを育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり	まちづくりの担い手 や子育て支援体制の確保、防災・犯力の強化など地域課題の解決に取り組み、安全・心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進める。特に、中山間地で域コミュニティ活性化を図る。	(3) 高齢者世帯への支援(続)	高齢者世帯に対して、身近な困りごとに細やかな支援を行うことにより高齢者が住みやすいまちづくりを推進する。	○	地域包括支援センターがコーディネーターとなり、区社会福祉協議会・地域支えあい課職員が相談を受けながら、小学校区を基本単位に、民生委員や地区社会福祉協議会、町内会・自治会、単位老人クラブといった様々な活動主体の連携強化及び見守り活動情報の一元化・共有化を図ることができるネットワークを構築し、ともに支え合う地域づくりを推進するため、見守り活動を基本として高齢者の活動・交流の場づくり、生活支援サービスへのつなぎなどの支援を行う。	既	既	地区社会福祉協議会等	区全域	地域包括支援センターがコーディネーターとなり、小学校区を基本として、民生委員や地区社会福祉協議会、町内会・自治会、単位老人クラブといった様々な活動主体の連携強化及び見守り活動情報一元化・共有化を図ることができるネットワークを構築し、見守り活動を基本に高齢者の活動・交流の場づくり、生活支援サービスへのつなぎなど、ともに支え合う地域づくりを推進する。	健康長寿課
				○	認知症高齢者の増加を見据え、症状・容態に応じた適切な医療・介護サービスの提供とともに認知症の人とその家族を支えるため、地域包括支援センターと連携して「認知症サポーター養成講座」を開催する。また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、認知症カフェ運営事業を活用し、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が気軽に集い、相互交流を図るとともに、専門職による相談・助言等により、認知症の人とその家族の孤立化を防止し、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進めるため、「認知症カフェ」が各小学校区で展開できるよう、地域包括支援センター・区社会福祉協議会と連携して支援する。	既	既	地域包括支援センター等	区全域	認知症高齢者の増加を見据え、症状・容態に応じた適切な医療・介護サービスの提供とともに認知症の人とその家族を支えることを目的として、「認知症サポーター養成講座」を開催。また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が気軽に集い、相互交流を図るとともに、専門職による相談・助言等により、認知症の人とその家族の孤立化を防止し、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進めるため、「認知症カフェ」の取組を支援する。	健康長寿課
				○	高齢者一人ひとりが生き生きと暮らし、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしを続けるまちを実現するため、日常生活の中で医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供する仕組み（地域包括ケアシステム）が住民主体で小学校区毎に構築できるよう、地域包括支援センター・区社会福祉協議会と連携して支援する。また、介護予防・日常生活支援総合事業を活用し、これまでの介護事業者によるサービスの提供に加え、地域住民やボランティアによる介護予防に資する多様なサービスが住民主体で小学校区毎に提供できるよう、地域包括支援センター・区社会福祉協議会と連携して支援する。	既	既	地域包括支援センター等	区全域	高齢者一人ひとりが生き生きと暮らし、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしを続けるまちを実現するため、日常生活の中で医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供する仕組み（地域包括ケアシステム）の一つとして実施。総合事業は、これまでの介護事業者によるサービスの提供に加え、地域住民やボランティアによる多様なサービスを提供するとともに介護予防の自主的な取組を支援する。	健康長寿課
	○ 災害に強く、安全・安心なまちづくり (1) 災害への備えの充実	(4) 障害者世帯への支援	障害のある方やその家族が、安心して地域生活を送れるようまちづくりを推進する。	○	地域生活支援拠点事業を活用し、障害のある方やその家族が安心して地域生活を送れるよう、地域・関係機関の連携を強化し、区内における緊急時の受け入れ体制を整える。	既	既	安芸区障害者基幹相談支援センター 安芸区障害者自立支援協議会	区全域	障害者の重度化・高齢化・「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点事業（緊急時の受入、対応体制の確保等）が令和元年10月から開始された。 安芸区障害者基幹相談支援センター・安芸区障害者相談支援事業所・安芸区内特定障害者相談支援事業所・当事者団体・安芸区民生委員児童委員協議会・行政等が構成された安芸区障害者自立支援協議会では、各種部会を定期的に開催し、情報の共有を図っている。また、年2回当事者団体や支援者・地域住民を対象に研修会等を実施している。	保健福祉課
				○	自立支援協議会安芸区地域部会において「ひとりの問題はみんなの問題としてとらえる町づくり」を目標に、関係団体・支援団体が集まり、安芸区における地域課題を抽出し分析及び対応を行うとともに、関係機関のネットワーク強化や地域資源の開発等を行う。あわせて、障害者への理解を深めるための普及啓発や権利擁護意識の醸成に取り組む。	既	既	地区の「防災出前サロン」運営委員会	瀬野学区 or 安芸区	防災で「自助・共助・協働」につながる出会いの場づくりとして気軽に話して仲間意識が生まれるとともに絆が出来れば、災害時には大きな力となって復旧・復興に期待が持てる。	地域起こし推進課
				○	各地域の防災士に働きかけて「防災出前サロン」を開催し、地域で防災について気軽に話す機会を設けるなどにより仲間意識の醸成を促し、災害時にはお互いを助け合う共助の避難行動等につなげていく。防災士が活動しやすいよう、資料提供や資機材の貸出等について支援する。	既	既	区役所、地区自主防災会連合会など	矢野地区、上瀬野地区	平成26年8月20日以降に広島市に寄せられた寄付金をもとに「防災まちづくり基金」が設置され、この基金を活用し、モデル地区（矢野地区、上瀬野地区）で、防災リーダーの養成、防災訓練の実施、防災受信機の設置、Webカメラの設置を行い地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。	地域起こし推進課
	(2) 防犯対策の強化	住民の意識啓発を図りながら、犯罪や事故の起こりにくい安全・安心なまちづくりを推進する。	引き続き、市民、事業者及び行政が連携・協働して犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに取り組み、安全・安心な地域社会の実現を図る。	○	「防災まちづくり基金」を活用し、平成30年7月の豪雨災害の被災地区の中からモデル地区を選定（矢野地区、上瀬野地区）し、防災リーダーの養成、防災訓練（慰霊碑を巡る訓練、子どもを対象とした宿泊訓練を含む）の実施、わがまち防災マップの作成、防災ライブカメラの設置等を支援し、地域防災力の向上を図っており、モデル地区の成果を踏まえながら、他の地区においても実施できるよう取り組む。	既	意	区役所、地区自主防災会連合会など	区全域	海田町の自主防災の取組で、夏休みに海田小学校の体育館で、1泊2日の防災キャンプを行い、段ボールのベッドの作り方や、段ボールの仕切りの作り方を、子どもたちも含めて親子で体験してもらっている。そうした訓練の実施を検討してもらいたい。	地域起こし推進課
				○	平成26年8月20日以降に広島市に寄せられた寄付金をもとに「防災まちづくり基金」が設置され、この基金を活用し、防災研修会の開催やわがまち防災マップの作成支援を行い、地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。	既	既	区役所、地区自主防災会連合会など	区全域	平成26年8月20日以降に広島市に寄せられた寄付金をもとに「防災まちづくり基金」が設置され、この基金を活用し、防災研修会の開催やわがまち防災マップの作成支援を行い、地域の防災まちづくり活動の促進等を図る。	地域起こし推進課
				○	避難行動要支援者支援事業に係る同意者リストを避難支援等関係者へ提供し、地域で行われている「支援・見守り活動」との連携を働きかけるなどし、必要に応じ、避難行動要支援者の避難に必要な具体的事項を整理した個別計画の作成を推進する。	既	既	区役所、地区自主防災会連合会など	区全域	避難行動要支援者支援事業に係る同意者リストを避難支援等関係者へ提供し、地域で行われている「支援・見守り活動」との連携を働きかけるなどし、必要に応じ、避難行動要支援者の避難に必要な具体的事項を整理した個別計画の作成を推進する。	地域起こし推進課・厚生部各課
	○ 健康づくりの増進	ウォーキングを開催したり地域の集まりを促したりすることにより、住民の健康づくりの機会を提供し、地域の活性化を図る。	引き続き、交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、交通安全街頭キャンペーンや自転車マナーアップキャンペーンを実施する。	○	引き続き、市民、事業者及び行政が連携・協働して犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに取り組み、安全・安心な地域社会の実現を図る。	既	既	区役所、安芸区防犯組合連絡協議会など	区全域	交通安全意識と交通マナーの向上を図るため、交通安全街頭キャンペーンや自転車マナーアップキャンペーンを実施する。	地域起こし推進課
				○	安芸区では瀬野川河川敷にウォーキングコースが整備されており、瀬野川の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむ抜群の環境に恵まれていることから、瀬野川河川敷でウォーキング大会を年に2回実施し、内1回は海田町と連携を図るため、共催している。この取組を継続することにより、区民の健康を増進し、健康づくりへの意識の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動を支援する。	既	既	区役所、安芸区スポーツセンターなど	区全域	安芸区では瀬野川河川敷にウォーキングコースが整備されており、瀬野川の豊かな自然の中でウォーキングを楽しむ抜群の環境に恵まれていることから、瀬野川河川敷でウォーキング大会を実施することにより、区民の健康を増進し、健康づくりへの意識の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動を支援する。	地域起こし推進課 健康長寿課
				○	畑賀地区において、畑賀地区社会福祉協議会が中心となり住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう「はたか健康塾」を開催し、健康講座や料理教室等住民の交流を促進している。引き続き、心身の健康増進に資する活動や生きがいづくりを推進するため、「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、健康講座や料理教室等を開催する。（P1. 再掲）	既	既	はたか健康塾実行委員会「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀地区	住民一人ひとりが不安なく、いつまでも元気で自立した生活を送ることができるよう、「はたか健康塾」を立ち上げ、健康講座や料理教室等の開催を通じて、心身の健康増進のための活動や生きがいづくりを推進する。	地域起こし推進課 健康長寿課
						意		区全域	議事資料4「身近な課題(3)」で、「交通手段を持たない世帯」とあるが、内容が買物に関するものしかない。買物だけではなく、例えば、運転免許証を返納した高齢者に対する支援など、「生きがいにつながるものに参加したい。」という方への支援ができないか。	地域起こし推進課	

まちづくりの方向性	概要	主な取組				【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）												
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課						
①ひとを育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり	まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進める。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図る。	○ 健康づくりの増進（続）	ウォーキングを開催したり地域の集まりを促したりすることにより、住民の健康づくりの機会を提供し、地域の活性化を図る。		○	中野地区において、地元団体が「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金を活用し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等が地域デビューできるよう支援するとともに、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図るため、健康麻雀や歌声健康クラブ（合唱）を住民主体で開催できるよう、区社会福祉協議会・地域包括支援センターと連携して支援している。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。（P2. 再掲）		既	平原上第二町内会	中野地区	健康麻雀や歌声健康クラブ（合唱）を開催し、高齢者が外へ出るきっかけを作り出すことでシルバー世代等の地域デビューを支援し、また、日常的な交流の場を創出することで地域コミュニティの活性化を図る。	地域起こし推進課 健康長寿課						
											意	区全域	議事資料4「身近な課題（3）」で、「交通手段を持たない世帯」とあるが、内容が買い物に関するものしかない。買い物だけでなく、例えば、運転免許証を返納した高齢者に対する支援など、「生きがいにつながるものに参加したい。」という方への支援ができないか。	地域起こし推進課				
		○ 中山間地の活性化	阿戸地区を始めとする中山間地において、多くの地区外の住民による来訪を促すことにより、地域の活性化を推進する。		○	阿戸地区において、保育園跡施設を活用して、地域が主体となって管理し、現在、高齢者交流サロンや女性会のバザー等に利用されている。小さなエリアマネジメントを活用して収益活動が行える体制を整え、地域の連携機能と情報発信機能を持つにぎわいの拠点づくりを進めることができるよう支援する。地域の連携機能の充実を図るため、放課後等における児童・生徒の学習・交流の場の創出や住民交流による花壇作りを検討していく。情報発信機能の強化を図るため、道路利用者等の休憩スペースの設置、阿戸の自然・歴史・特産品を紹介するコーナーの設置、Uターン支援窓口の設置、野菜等の特産品の加工・販売、町内の飲食を集めたグルメ広場の開催を検討する。		○	28	あと徳育園管理運営委員会（連合町内会等）	阿戸地区	旧阿戸保育園を活用したにぎわいの拠点づくり【継続】 地域の連携機能の充実 高齢者交流サロンや女性会のバザー等の開催 放課後等における児童、生徒の学習の場、交流の場 住民交流による花壇作り 情報発信機能の強化 道路利用者等の休憩スペースの設置 阿戸の自然、歴史、特産品を紹介するコーナーの設置 Uターン支援窓口の設置 野菜等の特産品の加工、販売 町内の飲食店等を集めたグルメ広場の開催	地域起こし推進課					
												既	区役所	阿戸地区	ひろしま活力農業経営者育成事業など新たな担い手の育成・営農を支援し、農業の振興や地域の活性化を図る。	農林課		
												既	里山あーと村運営協議会	阿戸地区	自然豊かな阿戸地区の市有林と周辺農地を活用した「里山あーと村ふるさと起こし事業」は、地域住民、各部会で活動する参加者及び市で構成する協議会を設置し協働方式により、運営されている。 「里山あーと村」では、定期的な部会活動のほか、一般市民を対象とした四季折々の農業体験のイベントを協働で開催しており、多くの地区外からの来訪者と地区住民との交流の場を提供するとともに、阿戸地区の活性化を図る。	○ 「里山あーと村ふるさと起こし事業」の事業内容【継続】 ・「やさいの会」をはじめとする7部会による定期的な活動 ・一般市民を対象とした田植えや稲刈りなどの合同イベント開催 ・地元主催の行事を通じた里山の会参加者と地域住民の交流 ・阿戸町の農産物を活用した特産品の開発	農林課	
○	少子高齢化など様々な課題を抱える阿戸地区の活性化を図るため、平成26・27年度に実施した地域住民によるワークショップを踏まえた「阿戸地区の新たなまちづくりプラン」を取りまとめた。このプランに盛り込まれた活性化策を試行的に実施しながら課題を整理し、組織づくりなど本格的な実施に向けて地域を支援していく。		○	少子高齢化など様々な課題を抱える阿戸地区の活性化を図るため、平成26・27年度に実施した地域住民によるワークショップを踏まえた「阿戸地区の新たなまちづくりプラン」を取りまとめた。このプランに盛り込まれた活性化策の実現に向けて、地元組織と協議をしながら進めている。		既	区役所	阿戸地区	少子高齢化など様々な課題を抱える阿戸地区の活性化を図るため、平成26・27年度に実施した地域住民によるワークショップを踏まえた「阿戸地区の新たなまちづくりプラン」を取りまとめた。このプランに盛り込まれた活性化策を試行的に実施しながら課題を整理し、組織づくりなど本格的な実施に向けて地域を支援していく。	地域起こし推進課								
									既	区役所	阿戸地区	少子高齢化など様々な課題を抱える阿戸地区の活性化を図るため、平成26・27年度に実施した地域住民によるワークショップを踏まえた「阿戸地区の新たなまちづくりプラン」を取りまとめた。このプランに盛り込まれた活性化策を試行的に実施しながら課題を整理し、組織づくりなど本格的な実施に向けて地域を支援していく。	地域起こし推進課					
②豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり	岩滝山や蓮華寺山、鉾取山、絵下山などの山々や瀬野川の水辺などの豊かな自然を保全・活用し、住民が身近に緑や水に親しむことのできる環境づくりに取り組み、豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくりを進める。	○ 豊かな自然との共存（1） 自然の保全・活用	自然観察会を開催することにより、住民が自然に触れるきっかけづくりを行う。		○	矢野地区を中心に、尾崎川河岸の清掃活動、水質浄化活動、自然観察会など自然の大切さを学び、保全する取組やまちの美化・清掃活動、緑化活動などにより、自然環境を大切に、美しいまちづくりができないか検討する。		24	矢野町町内会連合会	矢野地区、海田地区	瀬野川（海田町）からの入水口の拡幅による増水と池内に沈殿しているヘドロを除去することにより清浄化を図る。その後、釣り堀、貝掘り等のにぎわいづくり	地域起こし推進課						
											既	区役所	区全域	絵下山において、平成30年7月豪雨災害の復旧状況に応じて、従前行っていた絵下山の自然観察会を復活させることにより、絵下山の自然や魅力に直接触れるきっかけをつくり、絵下山を愛する人材を育成していくことにより、自然と共存するやすらぎのある空間を継承していく。	地域起こし推進課			
											既	矢野絵下山を愛する会・やのみー探検隊・あきく魅力探見隊	区全域	絵下山でのろしりレーを開催することにより、絵下山の自然や魅力を発信するとともに、絵下山を愛する人材を幅広く育成する。	地域起こし推進課			
											既	瀬野川ホテルの会	区全域	安芸区を流れる瀬野川とその流域の地域資源を活用し、地域団体が開催するホテル鑑賞会の開催やホテルの養殖・放流の支援を行うことにより、住民相互のつながりを促進する。	地域起こし推進課			
											○	阿戸地区において、地元組織が熊野川周辺の環境保護やホテルの飼育に努めるとともに、現在毎年6月初旬に開催している「ふるさと阿戸 竹灯り&ほたる祭り」を充実させ、ホテルを中心としたまちづくりを行っていくために、適切な補助制度の活用ができるよう支援を行う。		26	連合町内会、各種地域団体、小中学校、公民館等	阿戸地区	ふるさと阿戸 ほたるの里づくり【新規】 熊野川周辺の環境保護やホテルの飼育に努めるとともに、毎年6月初旬に「ふるさと阿戸 竹灯り&ほたる祭り」を開催する。 ・熊野川周辺の環境保護 ・清掃活動、児童による水生動物の学習会 ・ホテルの飼育 ・飼育場（瀬野川ホテル会）の運営支援、児童による飼育活動、町民を対象としたホテル講座（公民館） ・竹灯り&ほたる祭り ・ホテルの鑑賞会、竹灯りによるライトアップ、コンサートやグルメによるにぎわいづくり	地域起こし推進課
											○	矢野地区において、河岸緑地にある市の未利用地に雑草が生え放置されているので、地元による桜やはなみずきの植付による遊歩道の整備を支援することにより、住民の憩いの創出する。					25	矢野町町内会連合会
											○	安芸区には、「安芸アルプス」を始め、身近に多くの山々が連なり、海田町・海田町・熊野町・坂町や東広島市にもまたがっている。安芸区役所の登山道整備ボランティアである「あきく魅力探見隊」や近隣市町の登山道整備ボランティアと連携しながら、これらの山々にハイキングコースを整備し、地域の魅力資源として活用することにより、身近な里山として親しみを感じることでまちづくりを進める。		○	安芸区には、「安芸アルプス」を始め、身近に多くの山々が連なり、海田町・海田町・熊野町・坂町や東広島市にもまたがっている。安芸区役所の登山道整備ボランティアである「あきく魅力探見隊」や近隣市町の登山道整備ボランティアと連携しながら、これらの山々にハイキングコースを整備し、地域の魅力資源として活用することにより、身近な里山として親しみを感じることでまちづくりを進める。		既	区役所
○	意	区全域	方向性とは関係ないが、新聞に海田町のまちづくり実施計画5か年計画が出ていた。隣接町との連携で、海田町の実施計画とのすり合わせをしないか？ 【海田町】 ・魅力あるストーリーの取りまとめ ・近隣地域も入れ込んだ登山ルート（安芸アルプス）の整備づくりを検討する。	地域起こし推進課														

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）								
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課			
③ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり	かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組む。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進める。	○ ふるさと魅力活用 (1) 西国街道をはじめとした史跡の活用	ボランティアガイドを活用しながら、安芸区の魅力ある史跡について多くの住民に知ってもらう。		○ 瀬野、海田、船越、府中の4地区において、海田町を始めとする近隣の市町と連携しつつ、西国街道沿いの史跡を地域のボランティアガイドを活用しながら住民に紹介することにより、地域住民に「ふるさと」として親しみを感じ、愛着を持つことのできるまちづくりを進める。	○	既	区役所など	区全域	安芸区を流れる瀬野川とその流域の地域資源を活用し、地域課題を踏まえた区民主体のまちづくり活動を推進することにより、地域環境を整備するとともに、地域の活性化を図る。また、活動を通じて住民相互のつながりを強めるとともに、人材や団体の発掘・育成を図る。	地域起こし推進課				
										方向性とは関係ないが、新聞に海田町のまちづくり実施計画5か年計画が出ていた。隣接町との連携で、海田町の実施計画とのすり合わせをしないのか？ 【海田町】 ・広域連携による西国街道ツアー実施 西国街道周辺の地方公共団体との連携により、海田町単独ではできない取組、例えば、西条から宮島口までの大名行列（各行政単位のたすきリレー）や、広島市西区草津の西国街道周辺地域（神社・仏閣）の御朱印を集めて、最後まで完結したらクーポン券を配布するといったことを通じ、地域の文化の周知を図ることとする。 ・広域周辺のマップづくり 海田町単独ではなく、近隣地方自治体と共同で広域での観光マップ作成を検討する。	地域起こし推進課				
										矢野地区と阿戸地区において、西国街道だけではない地域が大切に育み保存してきた歴史的資源（寺社、古民家、無形文化財等）を、地域のボランティアガイドを活用して住民に紹介する取組を継続することにより、安芸区への来訪者の増加を図るとともに、地域住民に「ふるさと」として親しみを感じ、愛着を持つことのできるまちづくりを進める。 ○ 矢野地区においては、ボランティアガイドの高齢化が課題となっているため、新たな担い手の掘り起こしに努める。 ・阿戸地区において、現在、無形文化財「亀山八幡神社のはやし行事」にあわせて行っているツアーを参加者の意見を取り入れながら継続していく。また、東広島市と熊野町に隣接する地域の特性を生かし、地区外からも多くのひとを訪れてもらえるよう工夫をしていく。	既	区役所など	矢野・阿戸	安芸区には、地域が大切に育み保存してきた歴史的資源（寺社、古民家、無形文化財等）が数多く存在する。これらの魅力を地域の内外に発信することにより、安芸区への来訪者の増加を図るとともに、地域住民に「ふるさと」として親しみを感じ、愛着を持つことのできるまちづくりを進める。	地域起こし推進課
										矢野地区において、地域団体が区の活力と向上推進事業補助金を活用して、地域名所・旧跡のPRを通じて、地域住民に知ってもらうことで郷土を愛する人を育ていくとともに、地区外の住民に対して矢野町の魅力を発信し、地域の活性化につなげている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	発喜会	矢野地区	矢野町の名所・旧跡のPRを通じて、地域住民に知ってもらうことで郷土を愛する人を育ていくとともに、地区外の住民に対して矢野町の魅力を発信し、地域の活性化につなげる。	地域起こし推進課
										瀬野地区において、地元団体が地元ボランティア団体と連携を図りながら住民同士の交流の促進を目的に毎年開催しているウォークラリーを、地域の歴史と関連付け、瀬野地区だけでなく地域を拡大できるよう、適宜相談を受け適切な補助制度の紹介に努めるなど支援を行う。	12	瀬野体協（協賛 民生委員、小中学校PTA、公民館、その他）	瀬野地区	瀬野地区内においてウォークラリーを実施する。（距離約5Km） ・地域において参加希望者を募集（老若男女問わず） 点数により順位を決める。 ・所要時間設定（誤差により点数減点） ・ラリー途中色々な問題・ゲーム等実施し、正解にて点数加点 ・郷土史会と組み、問題を瀬野の歴史散歩マップに合わせた問題を作る。 ・終わった後軽食（うどん）を提供	地域起こし推進課
										瀬野地区において、地元団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、古代山陽道から江戸時代の西国街道への古の歴史街道と、弥仙谷を中心とした自然景観を復活させる。歴史資源の整理や、これにQRコードを付した案内板標識の作成、さらには植樹等を実施して、地域の魅力を向上させるとともに、住民同士の交流の促進を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	上大山自治会	瀬野地区	人口減少社会への挑戦として、古代山陽道から江戸時代の西国街道への古の歴史街道と、弥仙谷を中心とした自然景観を復活させる。歴史資源の整理や、これにQRコードを付した案内板標識の作成、さらには植樹等を実施して、地域の魅力を向上させるとともに、住民同士の交流を促進する。	地域起こし推進課
		(2) 伝統文化の継承	各地区に伝わる伝統文化を、多くの住民に知ってもらう機会を設けるとともに、補助制度を活用して文化の継承を支援する。	○ 畑賀地区において、地元団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、約200年前から伝わる「畑賀神楽」という伝統文化の保存・継承活動を継続的に行うため、損傷の著しい大蛇や刀、太鼓などを新調又は修繕し、郷土の文化を伝え広めることにより、地域の活性化を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	畑賀学区連合町内会（専門部） 畑賀神楽保存会	畑賀地区	約200年前から伝わる「畑賀神楽」という伝統文化の保存・継承活動を継続的に行うため、損傷の著しい大蛇や刀、太鼓などを新調又は修繕し、郷土の文化を伝え広めることにより、地域の活性化を図る。	地域起こし推進課						
		○ 瀬野地区において、俳人「種田山頭火」でまちおこしに取り組んでおり、各世帯が山頭火の句を記した短冊を軒下等に吊るしているが、短冊の痛みが激しく、句が読めないなど、活動の継続に支障を来していることから、地元団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、これを更新し、取組の更なる活性化に取り組んでいる。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	瀬野川流域郷土史懇話会	瀬野地区	上瀬野一貫田地区では、俳人「種田山頭火」でまちおこしに取り組んでおり、各世帯が山頭火の句を記した短冊を軒下等に吊るしているが、短冊の痛みが激しく、句が読めないなど、活動の継続に支障を来していることから、これを更新するとともに、取組をさらに活性化させる。	地域起こし推進課								
		○ 中野地区において、地元団体が伝統ある獅子舞を保存していくために、老人会や神社の祭りなど依頼に応じて出向き、認知度の向上を図る活動ができるよう、必要に応じて補助制度の紹介等による支援を行う。	11	津村獅子舞保存会（代表 今井修三）	老人会、神社等の祭りなど 要望があったところに行く	「ふるさとの魅力活用」 獅子舞の実施	地域起こし推進課								
		○ 船越地区において、地域団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、毎年10月第3土日曜日に岩瀧神社で開催される秋祭りにおいて、若手有志と関係団体（関係者）等が連携し、神楽殿での音楽ライブやプロジェクションマッピング、古くから伝わる「竹浦の鬼」にちなんだ鬼の衣装・行列など新たなプログラムを実施することにより、秋祭りから遠ざかりつつある若者や子どもたちを呼び込み、祭りの魅力アップと往時大勢の人でにぎわった秋祭りの活気につなげている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	ふなこしマチオコシ会議	船越地区	毎年10月第3土日曜日に岩瀧神社で開催される秋祭りにおいて、若手有志と関係団体（関係者）等が連携し、神楽殿での音楽ライブやプロジェクションマッピング、古くから伝わる「竹浦の鬼」にちなんだ鬼の衣装・行列など新たなプログラムを実施することにより、秋祭りから遠ざかりつつある若者や子どもたちを呼び込み、祭りの魅力アップと往時大勢の人でにぎわった秋祭りの活気につなげる。	地域起こし推進課								

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）					
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課
③ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり	かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組む。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進める。	(2) 伝統文化の継承(続)	各地区に伝わる伝統文化を、多くの住民に知ってもらう機会を設けるとともに、補助制度を活用して文化の継承を支援する。	○	矢野地区において、地元団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、江戸時代から残る矢野頂載の大規模修繕を行い尾崎神社秋季大祭で運行・活用させるとともに、頂載に関するパンフレット・ビデオを作成して伝統継承のための研修会や広報活動を行うことで、矢野の歴史や文化に多くの人に触れてもらい、次世代への伝統継承及び矢野町内外への町の魅力発信に取り組んでいる。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	既	矢野上組頂載保存会	矢野地区	江戸時代から残る矢野頂載の大規模修繕を行い尾崎神社秋季大祭で運行・活用させるとともに、頂載に関するパンフレット・ビデオを作成して伝統継承のための研修会や広報活動を行うことで、矢野の歴史や文化に多くの人に触れてもらい、次世代への伝統継承及び矢野町内外への町の魅力発信につなげる。	地域起こし推進課	
												○ 世代間を超えた交流
		○	船越地区において、地域団体が子どもの遊び場や、親同士が気軽に交流できる場、自然体験ができる場が少ないため、交流機会を求める子育て世代が子とともに集える拠点施設を確保するとともに、岩滝山や地区内の休耕田をフィールドに自然体験を実施することにより、地域の絆を深め、活性化を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	既	安芸親子チャレンジクラブ	船越地区	船越地区には子どもの遊び場や、親同士が気軽に交流できる場、自然体験ができる場が少ないため、交流機会を求める子育て世代が子とともに集える拠点施設を確保するとともに、岩滝山や地区内の休耕田をフィールドに自然体験を実施することにより、地域の絆を深め、活性化を図る。	地域起こし推進課			
		○	畑賀地区において、地域団体が地元の小学校と連携し、3年生児童と地域のボランティアが協働でバンジーを育成することにより、世代間の交流を図っている。今後も活動が継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	13	ボランティアグループ「バンジー」畑賀地区社会福祉協議会	畑賀学区	平成13年度から開催 小学校3年生児童と地域のボランティアが協働でバンジーを育成 9月に種まき。10月に苗をポットに移植。2月にプランターなど移植 (畑賀地区民児協共催)	地域起こし推進課				
		○	阿戸地区において、毎年12月に、地元中学校の生徒と地域の高齢者による、地元で採れた材料でしめ飾り作りを行うことにより、世代間の交流を深めている。しめ飾りづくりの指導者の高齢化が進んでいるため、必要に応じて補助制度の紹介等による支援を行う。	20	阿戸地区社会福祉協議会	阿戸地区	毎年12月に、阿戸中学校の生徒と地域の高齢者が、地元で採れた材料でしめ飾りを作る。熱心な指導と真剣な取組で作ったしめ飾りが、正月に各家庭の玄関に取り付けられます。	地域起こし推進課				
		○	瀬野地区において、地域団体が“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助金を利用し、子どもたちを核としながら大人たちが関わり、団地の魅力や課題を住民一体となって掘り起こすプラン「みどり坂産『元気缶詰』—色々な体験を詰め込んで！」を作成し、子どもの自主性や社会性の教育に結びつけるとともに、子どもたちを介して、親たちにも町内会活動へ関心を持ってもらい、世代を超えた交流を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	既	みどり坂町内会	瀬野地区	子どもたちを核としながら大人たちが関わり、団地の魅力や課題を住民一体となって掘り起こすプラン「みどり坂産『元気缶詰』—色々な体験を詰め込んで！」を作成し、子どもの自主性や社会性の教育に結びつけるとともに、子どもたちを介して、親たちにも町内会活動へ関心を持ってもらい、世代を超えた交流を図る。	地域起こし推進課			
		○	瀬野地区において、地域団体が“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助金を利用し、子どもたち自身の企画によるスポーツ交流会や、高齢者の支援による昔遊び競技等を実施し、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらうとともに、幼児から高齢者まで幅広い参加を得て、世代を超えた交流を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	既	みどり坂町内会	瀬野地区	子どもたち自身の企画によるスポーツ交流会や、高齢者の支援による昔遊び競技等を実施し、子どもたちに楽しい思い出を作ってもらうとともに、幼児から高齢者まで幅広い参加を得て、世代を超えた交流を図る。	地域起こし推進課			
		○	中野東地区において、地域団体が“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助事業を活用し、映画鑑賞会を開催するなど、子どもから高齢者までが一堂に会する機会を創出し、3世代交流の促進や若い世代における町内会の担い手の発掘を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	既	既	平原上第二町内会	中野東地区	映画鑑賞会を開催するなど、子どもから高齢者までが一堂に会する機会を創出し、3世代交流の促進や若い世代における町内会の担い手の発掘を図る。	地域起こし推進課			
		○	区民の連帯意識の高揚を図るために、区民総参加の「安芸区民まつり」を継続し、明るく住みよいまちづくりに寄与する。	既	既	安芸区民まつり委員会	区全域	区民の連帯意識の高揚を図るために、区民総参加の「安芸区民まつり」を実施し、明るく住みよいまちづくりに寄与する。	地域起こし推進課			
		○	安芸区内のスポーツの振興を図るとともに区民相互の親睦を深め、潤いのある区民生活の形成に寄与するため、現在行っている複数競技のスポーツ行事を継続していく。	既	既	広島市学区体育団体安芸区連合会	区全域	安芸区内のスポーツの振興を図るとともに区民相互の親睦を深め、潤いのある区民生活の形成に寄与するため、複数競技のスポーツ行事を行う。	地域起こし推進課			
		○	各地区において、効果的な事例を集めた事例集をコミュニティ交流協議会などの場を活用して紹介するなど、各種団体への支援を継続することにより、多様な社会参加を促す。	既	既	2 子ども可視化実行委員会	安芸区内へ拡大	児童・生徒(学校・家庭)・大人(地域)で良い生活習慣(あいさつ、清掃(時間を守る))を目に見える形にする。 ①ステッカー ②のぼり ③横断幕	地域起こし推進課・生活課			
		既	8 北鴻治町内会	北鴻治地区	子ども会活動をどの様に活発化し、参加してもらい、加入者を増やすか。 子どもの思い出づくり等、30～40年前の活動のあり方を役員一同が話し合い、他地区の現状も一考したい。	地域起こし推進課						
		既	9 北鴻治町内会		育成会役員、町内会役員、PTA役員等により、子育てによる思い出づくり。楽しい子ども時期のあり方について共通の問題として考える。	地域起こし推進課						
既	安芸区子ども会連合会	区全域	少子化や核家族化、ライフスタイルの変化などに伴い、子どもたちの成長に欠かせない様々な体験・交流活動の機会が乏しくなるとともに、地域のつながりが薄れつつある中で、子ども会の存在意義はますます高まっていることから、子ども会育成指導員の設置や子ども会が行う事業への補助金の交付など、子ども会活動への支援を行う。	地域起こし推進課								
既	安芸区内母親クラブ	区全域	子どもたちの健全育成を願って、児童館と有機的な連携をとりながら、地域ぐるみでボランティア活動をする「母親クラブ」に対して、補助金の交付など活動を支援する。	地域起こし推進課								
既	安芸区内女性会	区全域	各地域女性会は、地域の女性の資質の向上を図るとともに、新しいコミュニティづくり活動を推進することにより、平和で文化的な社会づくりに寄与していることから、補助金の交付など女性会活動を支援する。	地域起こし推進課								
既	安芸区青少年健全育成連絡協議会	区全域	世代を超えたふれあいと文化の総合祭典として、行政・公益法人等が互いに協力して取り組み、区民が明るく生き生きと参加できる事業を行い、青少年の健全育成を図る。	地域起こし推進課								

まちづくりの方向性	概要	主な取組					【参考】各事業（既存事業・各委員からの提案）						
		取組項目	取組項目の説明文	新規	継続	具体的な取組	連携	区分	実施主体（団体）	実施地域	内容	担当課	
③ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり	かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組む。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるまちづくりを進める。	○ 花と緑と音楽を通じた地域のきずなづくり	区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、活動の輪を広げていくことにより、花と緑にあふれた魅力あるまちづくりを進める。		○	安芸区内の花づくり活動を行う団体等の育成・支援を継続することにより、活動の輪を広げていくことにより、花と緑にあふれたまちづくりを進める。また、“花と緑”に“音楽”を加え、区民の花づくりや音楽など文化に親しむ機運を醸成し、花と音楽にあふれたまちづくりを安芸区民文化センター主催の「あきクラシックコンサート」等との連携を進めていく。さらに、海田町と連携しながら、瀬野川河川敷に芝桜の植付を進め、必要に応じ植替を行う。	○	既	区役所など	区全域		区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、活動の輪を広げていくことにより、花と緑にあふれたまちづくりを進める。また、“花と緑”に“音楽”を加え、区民の花づくりや音楽など文化に親しむ機運を醸成し、花と音楽にあふれたまちづくりを進めていく。	地域起こし推進課
												方向性とは関係ないが、新聞に海田町のまちづくり実施計画5か年計画が出ていた。隣接町との連携で、海田町の実施計画とのすり合わせをしないのか？ 【海田町】 ・魅力あるストーリーの取りまとめ ・瀬野川河川敷で行われている芝桜の植え付けなど他の地域と連携した事業のストーリーづくりを検討していく。	地域起こし推進課
												船越地区において、連合町内会、公民館及び各種地域団体等と連携し、旧船越町の町花で住民にも親しまれてきた誰故草の生育・普及を継続することにより、コミュニティ活性化を図る。	地域起こし推進課
												瀬野地区において、地域団体が区の魅力と活力向上推進事業補助金を活用し、子どもの自立への誓いと保護者の子どもへの想いを共有し、親子で協力して花樹を植え、育てることで、親子の絆を強めるとともに、まちを花でいっぱいにして地域の魅力を高める取組が補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	地域起こし推進課
												瀬野地区において、地域団体が区の活力と向上推進事業補助金を活用して、瀬野川公園に植樹した約200本のサクラを計画的に保守管理して成長させ、瀬野川公園を新たなサクラの名所とすることで瀬野地区のにぎわいを創出するとともに、地域住民による保守管理作業を通じて地域の連帯感を深め、コミュニティの活性化を図る取組を行っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	地域起こし推進課
												阿戸地区において、地域団体が“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助事業を活用し、耕作放棄され雑草が繁茂していた棚田を再整備し、花壇づくりを実施している。当該補助事業が終了しても、除草や花壇づくり、種まき等の作業を通じて、住民同士で一致団結して地域の課題を解決しようとする雰囲気醸成するとともに、これを維持する作業を通して住民同士の交流や多世代の交流を促進し、美しい景観による地域のイメージアップと地域コミュニティの活性化を図っている。補助事業が終了しても継続できるよう、適宜相談を受けたり、情報発信を行う。	地域起こし推進課
④東部地域をつなぐ活力とにぎわいのあるまちづくり	隣接する府中町、海田町、熊野町及び坂町を始めとした東部地域との連携を一層促進させ、住民相互の交流や経済面、生活面での結び付きを一層深めることにより、共に活力とにぎわいのあるまちづくりを進める。	○ 住民相互の交流の促進	安芸地区交流まつりなどを活用し、安芸地区の特産品を展示・販売する場を設けるなど、多くの住民に自分たちが住む地域の特産品を知ってもらうことにより、人々の交流や地産地消促進などを図る。		○	瀬野地区において、瀬野駅が機関車の機関区であった歴史を踏まえ、JRや山陽本線沿線の市町と連携し、機関車を切り口としたまちづくりができないか、関係者と協議しながら検討を進める。	○	3	瀬野学区連合町内会	安芸区		東広島市、府中町、海田町と連携を図り、機関車を走らせるイベントを行う。	地域起こし推進課
												安芸地区の特産品や食材を活用したレシピを考案するとともに、農産物等のPRなどをイベント等に併せて行い、人々の交流や地産地消の促進に取り組む。	農林課
												現在行われている東部市場の市場まつりで新たな企画ができないか、船越地区の商工業者や漁業者を中心に、東部市場の場内業者とも協議をしながら検討を行う。	地域起こし推進課
												高知県安芸市とは、同じ「安芸」という名前がつくことを縁として、相互交流を行っている。引き続き、相互訪問を行い、特産品のPRの場を設けることにより交流を深めていくことができるようにする。	地域起こし推進課
												安芸区民まつりに併せて開催している安芸地区交流まつりを継続することにより、府中町、海田町、熊野町、坂町や高知県安芸市との交流・連携を推進する。（ほかの事業（瀬野川健康ウォーキング・芝桜の植付）で掲載しているため、再掲する。）	地域起こし推進課
												（区の魅力と活力向上推進事業で安芸郡4町との連携事業を行っている「となり町との出会いと交流づくり」以外で他方向性で連携事業となっている事業はここに再掲する。）	地域起こし推進課

【凡例】  
 (区分)  
 番号: 参考資料2の各委員からの提案の番号  
 意: 参考資料1の第2回安芸区懇談会での主な意見(質問)  
 既: 既存事業  
 (そのほか)  
 連携: 近隣の自治体と連携する取組